

グループホームいこいの森

自己評価・運営推進会議を活用した評価結果および目標達成計画

開催場所：高知市旭町2丁目38-5

開催日時：令和4年6月28日（火曜日）午後2時～午後3時

出席委員：会社の代表【代表取締役（森 裕）】、施設の代表【統括管理者（武田 通代）】、ご家族代表、地域の代表【地域社会福祉法人職員】
服薬管理者【アトム薬局（薬剤師）】、行政の代表【高知市地域包括支援センター 旭街地域包括支援センター職員】 計 5名

欠席委員：なし

目標達成計画作成日：令和4年7月12日

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本理念はできており、日々のケアで実践に向け取り組んでいる。月一回スタッフ会の中で、理念を確認し共有をしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ前は敬老会、保育園、地域のお祭やイベントに参加していた。日常的には買い物、散歩など外出時に地域の住民と交流を行っていたが、コロナ禍の為、ほぼ全て中止。	コロナ禍の為に人や地域とのつながりが断たれていると感じる。新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながらできる限り以前のように地域との繋がりが持てるよう運営を行って欲しい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議も事業所での開催については、コロナ禍の為、中止を余儀なくされ、その場合はスタッフでの開催を行い、内容についてはWEBサイトで閲覧できるようにしている。	運営推進会議の内容はWEBサイトで確認できるが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながら、事業所での開催を基本として欲しい。開催の目安を高知市の感染者数が開催予定日の前週の1日感染者平均数が100名以下で開催することを報告。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ前は市主催の研修会に参加し、積極的に意見を述べていたと思うが、コロナ禍の為、実質的な交流はあまりできていない。今年は以前のように自立ケア研修に参加する予定。	高知市主催の介護カフェの参加や西部地区のグループホーム連絡協議会への参加等で積極的に実情を報告していたが、当該項目においてもコロナ禍の為に開催そのものが無くなったり、WEB会議に変更されたりとしたことにより、協力関係を構築するような機会を持てることが出来ていない。当該項目においても新型コロナウイルス感染状況を鑑みながら協力関係を構築できるよう運営を行って欲しい。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	原則として身体拘束を行わないケアを全職員が取り組んでいる。概ね2ヶ月に一度の運営推進会議においても委員会を開催しカンファレンスや日々の申し送りのなかで、ケアの確認、振り返りをして		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関に身体拘束廃止の宣言を掲示する等、全体への周知も概ねできている。身体拘束廃止の委員会も介護保険法に定められた3ヶ月に一度の開催ペースを上回る2ヶ月に一度のペースで開催されている。また実際

				いる。安全面に配慮し、身体拘束をしないケアをしている。研修会等も積極的に参加し、ホーム内でも委員を決めて研修をしている。年1回全体会で研修している。			に身体拘束を行っていないことからほぼ出来ているの評価とされた。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者虐待についても身体拘束廃止と同様に年1回の研修を行いその一歩手前である「不適切なケア」を理解し防止することを基本としている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グレーゾーンと考えられる「不適切なケア」をなくすことで高齢者虐待を防止するという基本的な考え方をもっており、研修についても適切に実施されていることから、ほぼ出来ていると評価した。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前に成年後見制度を利用して入居者様がおられたので、制度について理解がある。必要であれば活用できる支援体制を取る。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時は代表取締役・管理者・が同席し、契約書および需要事項説明書に沿って説明をしている。その場で不安や疑問を尋ね、応えている。介護報酬改定があれば、その都度説明をして、理解、納得を頂いている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	イベント時やご家族訪問時に話し合う機会を持ち、意見要望を聞いていたが、コロナ禍の為、面会制限を設けた結果、意見を交換する機会が減少した結果、意見を十分に反映できていない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為にご家族等がグループホームに足を運ぶ機会が減少しているようなので、意見等が十分に伝えられていないようで「あまりできていない」との評価とされた。実際に面会の機会が減少していても電子メールやWEBサイトでの意見や要望が発信できる等ICTを活用することを期待する。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は運営施設の増加やコロナ対応等により、以前と比較して職員と関わる時間が減少し、意見を聞く機会も減少した。管理者はカンファレンス時に意見を職員から意見を聞く機会を設けている。			

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は職員の個々の努力や変化を見極める程、状況を把握できていない。給与水準も大きく変えることができていない。やりがいや向上心を持てる機会を与えているとはいえない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は職員と意見を交わす機会を設けて、できる限り個々の能力や不安ややりがい等、どのような気持ちで仕事に取り組んでいるのかを把握するよう努めてほしい。現在は出来ていないようなので「ほとんどできていない」と評価した。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者はどのような研修が必要かを管理者に一任している為、実際の職員の個々の力量を把握していない。管理者が必要な研修については必ず受けられるようしている。法人内の研修についても十分とはいえないが、個々が希望するのであれば必ず受けられるようになっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は個々の職員の力量等の把握を管理者に任せきりになっているようで、どのような研修がその職員に必要なのかを把握しているとはいえない。個々の希望する研修については受講を妨げてはいないが、今後は管理者と共に職員の力量を把握するよう運営を行うことを期待する。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他事業所との交流も以前は行っていたが、コロナ禍の為に交流の機会が減少している。以前は西部地区のグループホーム連絡協議会も開催され情報交換も定期的に行われていたが、職員の参加はなく代表者が参加。その内容を管理者に伝達することで、サービスの質の向上が図れたことはある。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一緒に同じ空間、同じ時間を過ごす仲間として信頼関係が出来ており、お互いの役割を理解しながら支え合っている。人生の先輩として学ぶことが沢山あり、敬う気持ちといたわりの気持ちを持ち、お互いに支え合う関係が出来ている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、面会が制限されていることから、十分にできていない。現在、ZOOMによるリモート面談を行い関係が保たれるような機会を設けているが、一部のITリテラシーの高い方みの利用と	当該項目においてもコロナ禍の為に制限がなされている。ICTの活用等のできる限り、馴染みの関係が保てるよう運営を行って欲しい。		

				なっており、全体的な波及とまでは至っていない。			
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のケアでゆっくり話を聞き、個々の思いや意向を受け止め把握している。困難な場合は、日々の様子や表情から察し、家族の情報で本人本位に支援している。常に職員間で話し合い共有している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人・家族からは、日々の関りの中で思いや意見を聞いている。個々に担当を決めて、本人がどのようなケアを必要としているのか、モニタリング及びアセスメントを行い職員全員で意見交換し、介護計画に反映している。	介護計画は生活機能向上連携体制加算の算定しているなど、通常の介護計画より一歩踏み込んで協力医療機関の医師の意見を踏まえての介護計画が立案されている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画については適切に立案されている。職員全体で話し合いが行えているようで、ほぼ出来ているとの評価とした。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別に日々の暮らしやケアの実践、気づきを記入している。職員間で情報を共有し日々のケアや介護計画の見直しに役立てている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録への記載、業務日誌への記載等で行えている。また勤務者の交代時等の引き付きも細かく出来ているようでほぼ出来ているとの評価
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	買い物を中心に入居者様の個々のニーズを満たすよう努めているが、既存のサービスに捉われない柔軟な支援を行えているとはいえない。コロナ禍の為、入居者様とご家族の「会いたい」というニーズを満たすために ZOOM によるリモート面談は導入した。	既存のサービスにとらわれない支援やサービスという文言が具体的に何を指すのか、今一つ良く理解できないが、コロナ禍で面会制限を発しているなか少しでも入居者様とご家族が繋がれるように ZOOM によるリモート面談サービスが導入されている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為に地域のボランティアの出入も制限した。かつ地域の保育園への訪問等のイベントも中止。月一度の外出支援も従来のように提供できていない。	当該項目においてもコロナ禍の為に制限がなされている内容。感染に対する恐怖心は十分に理解できるが、感染状況を鑑みてできる支援を行って欲しい。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に、かかりつけ医の希望を聞きご本人、ご家族の希望するかかりつけ医を受診している。職員が家族と共に同行し、ホームでの様子を伝えている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時は1ヶ月間しか猶予期間がない契約になっており、十分な治療期間を設けているとはいえないが、介護保険制度において入院時の保障のような制度はなく、健全な事業運営を考えるとやむを得ないとする。入院時は職員が同行し本人の支援方法に関する情報を提供。病院相談員から、回復状況等の情報を頂き、退院に向けたカンファレンスに参加し、早期退院ができるようしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	医療機関も1ヶ月間で退院を促される動きが多く見られるので、猶予期間については健全な事業運営という視点からやむを得ないのではないかと、早期退院については協力医療機関と連携を図り、退院カンファレンスに参加する等、ほぼ出来ているという評価を行った。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化・終末期に向けた方針は、重度化対応指針によりご家族および職員全員に周知している。指針はWEBサイトでも閲覧可能である。本人家族の意向をもとに、協力医療機関や訪問看護ステーションから支援を受け、重度化・終末期のチーム支援ができる体制を構築している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化対応指針を契約時にご家族に渡すまたはWEBサイトにファイルをアップロードする等で周知を行っている。実際に看取りを行った事例はないようだが、協力医療機関との連携等は構築されており、実際に主治医がホームで看取りを行うという指示があっても十分対応できると判断した。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	緊急時対応マニュアルがあり、全職員が理解している。AEDを玄関前に設置しその使用方法についてレクチャーを受けた。但し定期的な訓練は行っていない為、今後は定期的訓練を実施する。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	火災訓練は、消防署の指導を受け避難・消火器使用方法・通報方法等の訓練を年2回実施している。耐震構造の建物であり、地震・水害時は外に出ず建物内避難とし、火災時の避難方法を確認し話	年2回の火災訓練、水害訓練、日中の災害および夜間の災害の訓練が行えている。地域との連携が課題であり、町内会の災害訓練に参加する、または災害訓練時に町内会からの参加をお願いする等で地域連携を図ってほしい。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	当該地域は津波の浸水予定もなく、話し合った内容と同様でありほぼ出来ていると評価

				し合っている。また交番と消防分団に隣接しており立地条件としては災害時に協力を得られやすい。夜間に関しては会社寮が近接。および代表が近隣に居住。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人を傷つけない声かけや、人格を尊重した接遇で対応している。特に排泄関係のケアは、言葉使いに注意しプライバシーに配慮した支援をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーに配慮したケアが概ね行えている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの状態や持てる力に合わせ、食事・飲み物・入浴・外出等、日常生活の中で本人が決める事ができるよう支援している。思いや希望を伝えやすい雰囲気作りに配慮している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一週間のメニューはあるが、入居者の希望で変更もある。食材の買い物と一緒にいき、食事作りや食器洗いを手伝ってもらっている。職員も同じテーブルを囲み、楽しく食事をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事は職員が調理をしており、一緒に食事をしている。入居者ができることはしてもらうというケアの基本も実践されており十分にできているという評価とした。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養1500カロリー水分1300mlは、確保するよう栄養バランスを考えた食事作りをしている。個々の状態を把握し、体調・状態に合わせて工夫し、栄養や水分の確保を支援している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアの必要性を認識しており、毎食後個々の状態に合わせたケアをしている。歯科受診・口腔内チェック、夜間ポリドント使用等清潔保持に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症と口腔ケアとの関連も理解されており日々の口腔ケアも受蓄されているが、定期的な歯科の訪問が無いため、客観的な専門的な有識者のアドバイス等がされていないので、ほぼ出来ていると評価した。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者個々の排泄状態を全職員が把握しており、トイレ排泄が出来るよう支援している。自尊心に配慮した声かけ誘導・パッド交換・下着回収をしている。一日でも長く、自立した排泄が保てるよう支援している。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄状態の把握および日中はできる限り介護用品を用いないケアに取り組んでいることからほぼ出来ていると評価した。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の希望を確認し、希望に沿った入浴になるように努めている。拒否時は、タイミングを計り、馴染みの職員が対応している。夜間入浴はして無いが、午後ゆったりと、時間をかけ浴槽に浸かり本人ペースで入浴を楽しんでいる。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの状態を把握し、日中の活動量を増やし、生活リズムを整え夜間の安眠確保が出来るよう支援している。日中はその日の個々の状態に合わせて休息して頂いている。夜間不眠の方は専門医を受診している。		
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の介護記録ファイルに投薬説明書を入れており、目的や副作用の確認をしている。新しく処方があれば、情報ノートに記入し情報を共有している。全職員が症状変化の確認をしている。服薬時は1人ではなく職員同士で名前、日付を確認している。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	服薬管理については協力薬局と連研が充分に取れている、また訪問して下さる協力薬局の薬剤師から薬の情報等を得ることができている。また最近では誤薬事故も発生していないことから充分にできていると評価した。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の得意分野を把握しており、花壇の手入れ・梅干し・干し柿・イタドリはぎ等を手伝って頂いている。全職員が常に感謝の言葉をかけている。誕生日会等の行事には、豪華なご馳走で楽しんで頂き気分転換の支援をしている。		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、外出支援も中止。日常的な散歩や買物同行も十分に行えていないが、感染状況が一時的に落ち着いているときは季節な花などを車中から見学した。	当該項目においてもコロナ禍の為に十分にできていない。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、買物同行も自粛している為、支援できていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	遠方の家族から贈り物が届いた時は、お礼の電話をかけるようアドバイスしている。不定期であるが、ご家族に出すお便りの中に、時々本人の書いた絵・手紙・写真を入れている。本人の希望を聞き、電話や手紙の支援に努めている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共用空間は、台所・食堂・ソファと一体化しており、食事作りの音・匂い等生活感が溢れている。季節の花をテーブル等に活け、季節感を取り入れる工夫をしている。職員間の私語をつつしみ不快にならないよう気をつけている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設のハード面については機能的であり、職員が入居者に目を配りやすいレイアウトとなっており、ほぼ出来ていると評価した。	
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向に沿った支援ができるように職員全体で把握。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にケアマネジャーやご家族、その他の関係者から得た情報を基にケアプランを作成。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタルチェック、食事および水分量を確認リストに記載。排泄状態の把握を行い情報を申し送り、情報の共有を図っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録および業務日誌等で全員のバイタルチェックの記録がなされており、ほぼ出来ていると評価。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一日の基本的なタイムスケジュールはあるが、お一人お一人のペースを大切にし尊重をもって自分の思いで生活ができるよう支援。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に以前にご本人様が大切にしていた物や日常的に使用していた物を自由に持ってきて下さるようお伝えしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に馴染みの物を何でも持ち込んで良いことを説明するなど、十分にできていると評価した。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩に行きたい等の訴えがある時は職員と一緒に近隣を散歩している。催し事についてはコロナ禍の為に一部制限している。	当該項目においてもコロナ禍の為に一部制限がなされている。近隣の散歩については感染リスクがほぼ無いので職員と一緒にいる。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状況に応じて洗濯干しや洗濯物のたたみ、調理の下ごしらえ、レクリエーションへの参加をここにに応じて支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居者様同士の会話、職員との会話が行える場を設け、得意な活動を把握して笑顔で気持ちよく生き生きとした生活が行えるよう支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の一人ひとりの出来ること、得意なこと、出来ないこと、嫌なこと、好きなことをほぼ把握している。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は近隣の高齢者施設のイベントに参加したりし交流を行っていたが、コロナ禍の為にほとんど行っていない。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるできている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームに居ることで安全安心の生活が送れている。ご入居者様同士、職員も家族のような関係が構築できており、より良い日々を送ることができる。	全体的に家庭的な雰囲気の中で、プライバシーに配慮され、ケアが行えている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	話し合った内容と同様であるが、コロナ禍の為に地域との連携が断たれている為、ほぼ出来ていると評価した。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本理念はできており、日々のケアで実践に向け取り組んでいる。月一回スタッフ会の中で、理念を確認し共有をしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ前は敬老会、保育園、地域のお祭やイベントに参加していた。日常的には買い物、散歩など外出時に地域の住民と交流を行っていたが、コロナ禍の為、ほぼ全て中止。	コロナ禍の為に人や地域とのつながりが断たれていると感じる。新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながらできる限り以前のように地域との繋がりが持てるよう運営を行って欲しい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議も事業所での開催については、コロナ禍の為、中止を余儀なくされ、その場合はスタッフでの開催を行い、内容についてはWEBサイトで閲覧できるようにしている。	運営推進会議の内容はWEBサイトで確認できるが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながら、事業所での開催を基本として欲しい。開催の目安を高知市の感染者数が開催予定日の前週の1日感染者平均数が100名以下で開催することを報告。		
4	市町村との連携	市町村担当者とは頃頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ前は市主催の研修会に参加し、積極的に意見を述べていたと思うが、コロナ禍の為、実質的な交流はあまりできていない。今年は以前のように自立ケア研修に参加する予定。	高知市主催の介護カフェの参加や西部地区のグループホーム連絡協議会への参加等で積極的に実情を報告していたが、当該項目においてもコロナ禍の為に開催そのものが無くなったり、WEB会議に変更されたりとしたことにより、協力関係を構築するような機会を持てることが出来ていない。当該項目においても新型コロナウイルス感染状況を鑑みながら協力関係を構築できるよう運営を行って欲しい。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	原則として身体拘束を行わないケアを全職員が取り組んでいる。概ね2ヶ月に一度の運営推進会議においても委員会を開催しカンファレンスや日々の申し送りのなかで、ケアの確認、振り返りをして		A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関に身体拘束廃止の宣言を掲示する等、全体への周知も概ねきている。身体拘束廃止の委員会も介護保険法に定められた3ヶ月に一度の開催ペースを上回る2ヶ月に一度のペースで開催されている。また実際

				いる。安全面に配慮し、身体拘束をしないケアをしている。研修会等も積極的に参加し、ホーム内でも委員を決めて研修をしている。年1回全体会で研修している。			に身体拘束を行っていないことからほぼ出来ているの評価とされた。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者虐待についても身体拘束廃止と同様に年1回の研修を行いその一歩手前である「不適切なケア」を理解し防止することを基本としている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グレーゾーンと考えられる「不適切なケア」をなくすことで高齢者虐待を防止するという基本的な考え方をもっており、研修についても適切に実施されていることから、ほぼ出来ていると評価した。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前に成年後見制度を利用して入居者様がおられたので、制度について理解がある。必要であれば活用できる支援体制を取る。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時は代表取締役・管理者・が同席し、契約書および需要事項説明書に沿って説明をしている。その場で不安や疑問を尋ね、応えている。介護報酬改定があれば、その都度説明をして、理解、納得を頂いている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	イベント時やご家族訪問時に話し合う機会を持ち、意見要望を聞いていたが、コロナ禍の為、面会制限を設けた結果、意見を交換する機会が減少した結果、意見を十分に反映できていない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為にご家族等がグループホームに足を運ぶ機会が減少しているようなので、意見等が十分に伝えられていないようで「あまりできていない」との評価とされた。実際に面会の機会が減少していても電子メールやWEBサイトでの意見や要望が発信できる等ICTを活用することを期待する。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は運営施設の増加やコロナ対応等により、以前と比較して職員と関わる時間が減少し、意見を聞く機会も減少した。管理者はカンファレンス時に意見を職員から意見を聞く機会を設けている。			

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は職員の個々の努力や変化を見極める程、状況を把握できていない。給与水準も大きく変えることができていない。やりがいや向上心を持てる機会を与えているとはいえない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は職員と意見を交わす機会を設けて、できる限り個々の能力や不安ややりがい等、どのような気持ちで仕事に取り組んでいるのかを把握するよう努めてほしい。現在は出来ていないようなので「ほとんどできていない」と評価した。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者はどのような研修が必要かを管理者に一任している為、実際の職員の個々の力量を把握していない。管理者が必要な研修については必ず受けられるようしている。法人内の研修についても十分とはいえないが、個々が希望するのであれば必ず受けられるようになっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は個々の職員の力量等の把握を管理者に任せきりになっているようで、どのような研修がその職員に必要なのかを把握しているとはいえない。個々の希望する研修については受講を妨げてはいないが、今後は管理者と共に職員の力量を把握するよう運営を行うことを期待する。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他事業所との交流も以前は行っていたが、コロナ禍の為に交流の機会が減少している。以前は西部地区のグループホーム連絡協議会も開催され情報交換も定期的に行われていたが、職員の参加はなく代表者が参加。その内容を管理者に伝達することで、サービスの質の向上が図れたことはある。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一緒に同じ空間、同じ時間を過ごす仲間として信頼関係が出来ており、お互いの役割を理解しながら支え合っている。人生の先輩として学ぶことが沢山あり、敬う気持ちといたわりの気持ちを持ち、お互いに支え合う関係が出来ている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、面会が制限されていることから、十分にできていない。現在、ZOOMによるリモート面談を行い関係が保たれるような機会を設けているが、一部のITリテラシーの高い方みの利用と	当該項目においてもコロナ禍の為に制限がなされている。ICTの活用等のできる限り、馴染みの関係が保てるよう運営を行って欲しい。		

				なっており、全体的な波及とまでは至っていない。			
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のケアでゆっくり話を聞き、個々の思いや意向を受け止め把握している。困難な場合は、日々の様子や表情から察し、家族の情報で本人本位に支援している。常に職員間で話し合い共有している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人・家族からは、日々の関りの中で思いや意見を聞いている。個々に担当を決めて、本人がどのようなケアを必要としているのか、モニタリング及びアセスメントを行い職員全員で意見交換し、介護計画に反映している。	介護計画は生活機能向上連携体制加算の算定しているなど、通常の介護計画より一歩踏み込んで協力医療機関の医師の意見を踏まえての介護計画が立案されている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画については適切に立案されている。職員全体で話し合いが行えているようで、ほぼ出来ているとの評価とした。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別に日々の暮らしやケアの実践、気づきを記入している。職員間で情報を共有し日々のケアや介護計画の見直しに役立てている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録への記載、業務日誌への記載等で行えている。また勤務者の交代時等の引き付きも細かく出来ているようでほぼ出来ているとの評価
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	買い物を中心に入居者様の個々のニーズを満たすよう努めているが、既存のサービスに捉われない柔軟な支援を行えているとはいえない。コロナ禍の為、入居者様とご家族の「会いたい」というニーズを満たすために ZOOM によるリモート面談は導入した。	既存のサービスにとらわれない支援やサービスという文言が具体的に何を指すのか、今一つ良く理解できないが、コロナ禍で面会制限を発しているなか少しでも入居者様とご家族が繋がれるように ZOOM によるリモート面談サービスが導入されている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為に地域のボランティアの出入も制限した。かつ地域の保育園への訪問等のイベントも中止。月一度の外出支援も従来のように提供できていない。	当該項目においてもコロナ禍の為に制限がなされている内容。感染に対する恐怖心は十分に理解できるが、感染状況を鑑みてできる支援を行って欲しい。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に、かかりつけ医の希望を聞きご本人、ご家族の希望するかかりつけ医を受診している。職員が家族と共に同行し、ホームでの様子を伝えている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時は1ヶ月間しか猶予期間がない契約になっており、十分な治療期間を設けているとはいえないが、介護保険制度において入院時の保障のような制度はなく、健全な事業運営を考えるとやむを得ないとする。入院時は職員が同行し本人の支援方法に関する情報を提供。病院相談員から、回復状況等の情報を頂き、退院に向けたカンファレンスに参加し、早期退院ができるようしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	医療機関も1ヶ月間で退院を促される動きが多く見られるので、猶予期間については健全な事業運営という視点からやむを得ないのではないかと、早期退院については協力医療機関と連携を図り、退院カンファレンスに参加する等、ほぼ出来ているという評価を行った。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化・終末期に向けた方針は、重度化対応指針によりご家族および職員全員に周知している。指針はWEBサイトでも閲覧可能である。本人家族の意向をもとに、協力医療機関や訪問看護ステーションから支援を受け、重度化・終末期のチーム支援ができる体制を構築している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化対応指針を契約時にご家族に渡すまたはWEBサイトにファイルをアップロードする等で周知を行っている。実際に看取りを行った事例はないようだが、協力医療機関との連携等は構築されており、実際に主治医がホームで看取りを行うという指示があっても十分対応できると判断した。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	緊急時対応マニュアルがあり、全職員が理解している。AEDを玄関前に設置しその使用方法についてレクチャーを受けた。但し定期的な訓練は行ってない為、今後は定期的訓練を実施する。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	火災訓練は、消防署の指導を受け避難・消火器使用方法・通報方法等の訓練を年2回実施している。耐震構造の建物であり、地震・水害時は外に出ず建物内避難とし、火災時の避難方法を確認し話	年2回の火災訓練、水害訓練、日中の災害および夜間の災害の訓練が行えている。地域との連携が課題であり、町内会の災害訓練に参加する、または災害訓練時に町内会からの参加をお願いする等で地域連携を図ってほしい。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	当該地域は津波の浸水予定もなく、話し合った内容と同様でありほぼ出来ていると評価

				し合っている。また交番と消防分団に隣接しており立地条件としては災害時に協力を得られやすい。夜間に関しては会社寮が近接。および代表が近隣に居住。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人を傷つけない声かけや、人格を尊重した接遇で対応している。特に排泄関係のケアは、言葉使いに注意しプライバシーに配慮した支援をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーに配慮したケアが概ね行えている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの状態や持てる力に合わせ、食事・飲み物・入浴・外出等、日常生活の中で本人が決める事ができるよう支援している。思いや希望を伝えやすい雰囲気作りに配慮している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一週間のメニューはあるが、入居者の希望で変更もある。食材の買い物と一緒にいき、食事作りや食器洗いを手伝ってもらっている。職員も同じテーブルを囲み、楽しく食事をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事は職員が調理をしており、一緒に食事をしている。入居者ができることはしてもらうというケアの基本も実践されており十分にできているという評価とした。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養1500カロリー水分1300mlは、確保するよう栄養バランスを考えた食事作りをしている。個々の状態を把握し、体調・状態に合わせて工夫し、栄養や水分の確保を支援している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアの必要性を認識しており、毎食後個々の状態に合わせたケアをしている。歯科受診・口腔内チェック、夜間ポリドント使用等清潔保持に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症と口腔ケアとの関連も理解されており日々の口腔ケアも受蓄されているが、定期的な歯科の訪問が無いため、客観的な専門的な有識者のアドバイス等がされていないので、ほぼ出来ていると評価した。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者個々の排泄状態を全職員が把握しており、トイレ排泄が出来るよう支援している。自尊心に配慮した声かけ誘導・パッド交換・下着回収をしている。一日でも長く、自立した排泄が保てるよう支援している。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄状態の把握および日中はできる限り介護用品を用いないケアに取り組んでいることからほぼ出来ていると評価した。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の希望を確認し、希望に沿った入浴になるように努めている。拒否時は、タイミングを計り、馴染みの職員が対応している。夜間入浴はして無いが、午後ゆったりと、時間をかけ浴槽に浸かり本人ペースで入浴を楽しんでいる。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの状態を把握し、日中の活動量を増やし、生活リズムを整え夜間の安眠確保が出来るよう支援している。日中はその日の個々の状態に合わせて休息して頂いている。夜間不眠の方は専門医を受診している。		
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の介護記録ファイルに投薬説明書を入れており、目的や副作用の確認をしている。新しく処方があれば、情報ノートに記入し情報を共有している。全職員が症状変化の確認をしている。服薬時は1人ではなく職員同士で名前、日付を確認している。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	服薬管理については協力薬局と連研が充分に取れている、また訪問して下さる協力薬局の薬剤師から薬の情報等を得ることができている。また最近では誤薬事故も発生していないことから充分にできていると評価した。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の得意分野を把握しており、花壇の手入れ・梅干し・干し柿・イタドリはぎ等を手伝って頂いている。全職員が常に感謝の言葉をかけている。誕生日会等の行事には、豪華なご馳走で楽しんで頂き気分転換の支援をしている。		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、外出支援も中止。日常的な散歩や買物同行も十分に行えていないが、感染状況が一時的に落ち着いているときは季節な花などを車中から見学した。	当該項目においてもコロナ禍の為に十分にできていない。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、買物同行も自粛している為、支援できていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	遠方の家族から贈り物が届いた時は、お礼の電話をかけるようアドバイスしている。不定期であるが、ご家族に出すお便りの中に、時々本人の書いた絵・手紙・写真を入れている。本人の希望を聞き、電話や手紙の支援に努めている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共用空間は、台所・食堂・ソファと一体化しており、食事作りの音・匂い等生活感が溢れている。季節の花をテーブル等に活け、季節感を取り入れる工夫をしている。職員間の私語をつつしみ不快にならないよう気をつけている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設のハード面については機能的であり、職員が入居者に目を配りやすいレイアウトとなっており、ほぼ出来ていると評価した。	
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向に沿った支援ができるように職員全体で把握。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にケアマネジャーやご家族、その他の関係者から得た情報を基にケアプランを作成。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタルチェック、食事および水分量を確認リストに記載。排泄状態の把握を行い情報を申し送り、情報の共有を図っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録および業務日誌等で全員のバイタルチェックの記録がなされており、ほぼ出来ていると評価。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一日の基本的なタイムスケジュールはあるが、お一人お一人のペースを大切にし尊重をもって自分の思いで生活ができるよう支援。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に以前にご本人様が大切にしていた物や日常的に使用していた物を自由に持ってきて下さるようお伝えしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に馴染みの物を何でも持ち込んで良いことを説明するなど、充分にできていると評価した。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩に行きたい等の訴えがある時は職員と一緒に近隣を散歩している。催し事についてはコロナ禍の為に一部制限している。	当該項目においてもコロナ禍の為に一部制限がなされている。近隣の散歩については感染リスクがほぼ無いので職員と一緒にいる。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状況に応じて洗濯干しや洗濯物のたたみ、調理の下ごしらえ、レクリエーションへの参加をここにに応じて支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居者様同士の会話、職員との会話が行える場を設け、得意な活動を把握して笑顔で気持ちよく生き生きとした生活が行えるよう支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の一人ひとりの出来ること、得意なこと、出来ないこと、嫌なこと、好きなことをほぼ把握している。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は近隣の高齢者施設のイベントに参加したりし交流を行っていたが、コロナ禍の為にほとんど行っていない。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるできている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームに居ることで安全安心の生活が送れている。ご入居者様同士、職員も家族のような関係が構築できており、より良い日々を送ることができる。	全体的に家庭的な雰囲気の中で、プライバシーに配慮され、ケアが行えている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	話し合った内容と同様であるが、コロナ禍の為に地域との連携が断たれている為、ほぼ出来ていると評価した。

目標達成計画

作成日: 令和4年7月12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	代表者はどのような研修が必要かを管理者に一任している為、実際の職員の個々の力量を把握していない。管理者が必要な研修については必ず受けられるようしている。法人内の研修についても十分とはいえないが、個々が希望するのであれば必ず受けられるようにしている。	代表者は管理者と共同で個々の職員の力量を把握し、必要な研修をが充分に受講できるようにする。また必要な研修の受講に際しては職務扱いとし働きながらトレーニング出来る環境を整備する。	代表者と管理者の定期的なミーティングの実施。 代表者と個々の職員との定期的なミーティングの実施。代表者及び管理者はどのような外部の研修があるのかを情報収集し全職員に徹底周知。内部研修の計画を全職員に周知。	3ヶ月
2	11	代表者は職員の個々の努力や変化を見極める程、状況を把握できていない。給与水準も大きく変えることができていない。やりがいや向上心を持てる機会を与えているとはいえない。	代表者は職員の個々の特性等を把握するよう努め、介護保険法により定めれている算定可能な認知症共同生活介護の加算においては職員に大きな負担がかからないおいて算定を行い給与水準を上げるよう努め、やりがいや向上心を持てる機会を増やす。	代表者と個々の職員の定期的なミーティング、介護保険法の理解。	3ヶ月
3	20	コロナ禍の為に地域のボランティアの出入も制限した。かつ地域の保育園への訪問等のイベントも中止。月一度の外出支援も従来のように提供できていない。	コロナ禍でも実施できる様なイベントを開催し地域と入居者が繋がりを持てる機会を増やす。月一度の外出支援についてもコロナの感染状況を鑑みながら、感染防止対策を実行し再開する。	ICTの活用。新型コロナウイルス感染症の感染者数の把握。外出時感染予防対策の実施(車内清掃、消毒、マスクの着用、外出先の感染対策状況の把握等)	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。